

# 昌子の広場

## 第96報

### 小林昌子議会報告

#### 和泉市無所属市民派議員

小林昌子

和泉市緑ヶ丘 2-13-10

自宅 Tel(Fax) 0725-54-2626

事務所 Tel(Fax)0725-53-4451

Email masakokob@ybb.ne.jp

http://masako-hiroba.info/

ホームページもご覧下さい

yahoo の小林昌子で検索出来ます



市長公約について一般質問  
市民税・上下水道料金引き下げ等  
頼れる病院ランキング

#### 目次

・一般質問	P1-3
・頼れる病院ランキング	P3-4
・昌子の日記	P4

## 市民税・上下水道10%引き下げ、敬老祝い金復活を問う！

辻市長の所信表明並びに市政運営方針に対し、7月議会で大綱質疑に引き続き一般質問を行いました。以下はその速報です。

### 市民税・上下水道10%引き下げの意義について

#### 【質問】

市民税、上下水道料金の引き下げ、敬老祝金の復活に必要な財源額は幾らか。

他市で市民税の引き下げを公約している市は、いずれも財政基盤が強い地方交付税の不交付団体であり、当市とは全く財政環境が異なる。さらに、市長は病院への支援、和泉府中駅前再開発等、今後、市の財政はますます厳しくなるとの認識であるが、そのような中で財政基盤を毀損するこれらの施策を行う意味、意義は。又これらの引き下げに当たって、市債の残高をふやさないこと、基金の残高を減らさないこと、手数料の引き上げや市民サービスの低下等、市民負担を前提にしないことの3点を確約出来るか。

#### 【答弁】

市民税の減税で約10億円、上下水道4億7,000万円。敬老祝金の復活で約5,000万円の歳出増となる。

減税、減額等を実施する意義は、行財政改革とそれに至るまでのプロセスにおいて、職員はもとより市民や有識者などの参画、ご協力をいただきながら小さな税金で大きなサービスを生み出すよう市全体の意識改革に努めるとともに、地域経済の活性化や市民と行政の協働社会の構築に資する事である。

又公約実現の財源を市民サービスの単なる切り捨てや受益者負担の増額、地債、基金などに安易に依存する考えはない。しかしながら、施策の方向性や事業の取捨選択などは財政状況や費用対効果、事業の達成度などを勘案し、今後どうしていくのかという検討は常に必要であると認識している。

### 公約実現の時期等について

#### 【質問】

この引き下げは恒久的なものではなく、自身の任期中に限って行うものとしているが、そうであれば、4年間かけて実施していたのではみずからの任期は終わってしまう。すぐにでも市民の方は実現するものと思って投票をされたというふうに私は理解をしており、少なくとも来年ぐらいから実施するぐらいのスピード感が必要ではないか。引き下げの行程表をお示しいただきたい。

#### 【答弁】

市長室長兼政策審議担当課長以下4名体制で、公約のみならず、今後推進すべき取り組みのフレームを定め、どのような形で進めていくかを関係部局を含めて議論しながらできるだけ早い段階でスケジュールの中身を詰めていきたいというふうに考えている。

#### 【質問】

名古屋市の河村市長は自分が市長を退いても名古屋市民にとって市民税10%減額をするという前提で11月には議会に条例を制定したいということをおっしゃる。また、同じく愛知県の半田市では、確認したところ来年度から実施をする

と。その額というのは大体7億円ぐらいになるそうだが、7億円すべてを来年度から実施できるかどうかは予算の編成も含めて確約はできない。けれども、市民の生活が困窮をしているということにかんがみて、来年度から実施をすると。こういうふうに言っておられる。先行している自治体に比べて4年間で実現するというのはあまりにも遅すぎ、市民との約束をしたということにはならないと考えるが。

#### 【答弁】

この改革は行政だけの力では実現しないというふうに私は考えております。今後、市民の皆様方、また市内の企業の方々のご意見もいただきながら、ご協力もいただきながら進めていくものであるというふうに考えております。

個別の取り組みにつきましては、まだ示すべき時期には入っておりません。先ほどから、かなり難しい、できない、困難というふうな言葉が連発されておりますが、私は可能性を追求してこれから行政は何事にも取り組まなければならないというふうに思っています。4年というふうなことは申しておりますが、できるだけ早い時期に市民の皆様方のご期待に沿えるような結果を、また計画をお示しするつもりで、決意でございます。

#### 【質問】

市長は公民協働と言いながら実施の行程表も示さないで、一体いつから公民協働が始まるのか。行程表も示さないで、3年間考えるのか。そしたら残りの1年しか公民協働できません。私がお聞きしているのは実施時期ではありません。例えば北部リージョンセンターはどうなるのですか。財政の裏づけなく市民に建設に向けて協議会を立ち上げていますが、市長の公約を優先するから出来ない、そんな無責任なことではできないはず。少なくとも最も大きな問題は財源であり、そんな夢を食べるような話をされても困ります。

市長がプロジェクトチームへ指示した内容は具体的には特に御答弁ありませんでしたけれども、例えば、行程表といたらこのことをするのにこの事業を削る、あるいはそれは公民協働でやるとか、そんなことを考えていけないといけないんですよ。そして、いつまでにこれを大体やろうとか、これをする事によって財源はこれぐらい出るだろうとか、そういう目途もなく、ただ市長は公民協働だ、市民と協力する、事業者とも協力する、そんなことを言っても財源出てきません。

少なくとも市民税と、それから上下水道で15億円、それから敬老祝金を仮に従前に戻すと毎年1億円です。これだけの財源を市長の公約実現のために、

従来とは違って捻出しなさいといけないんですよ。歳入減はわかっているし、歳出増ももう明確になっているわけですよ。それをするというのに、市長たるもの行程表のおしりもいつまでにやれということを示すできなくて、これからの4年間、どうして市民とまた事業者、それから職員さんと一緒に和泉市をつくっていただけるんですか。市長として行程表ぐらいは指示しないとだめでしょう。

#### 【答弁】

当然、行程表はお示しいたしますが、今の時点ではどの時期になるか、それはまだ発表することはできません。

また、この公約を実現するに当たって丸投げというようなことは一切考えていない。近々にプロジェクトチームの強化も行っていく、その中に私も入って、職員の皆さんと一緒に公約実現に向けて和泉市民のために頑張っている決意である。

#### 【質問・感想】

どの時期になるかは発表できないというのが現時点の市長の公約実現に向けてのお考えですので、それ以上の答弁はお答えいただけないというふうなことがわかりましたけれども、私がる申し上げましたように、18万市民のトップとして、継続性のある施策ではなく自分の任期中の施策であるということ等、非常に私はばらまきではないと言いながら、私にとりましてはばらまきとしかうつらないような公約であったという感想を持っております。

## 敬老祝い金について

#### 【質問】

市長は大綱質疑の答弁で、高齢者を取り巻く環境が厳しさを増しているということを導入の理由に挙げておられたと思いますけれども、厳しさを増しているのは高齢者に限ったことではありません。子育ての世代、そしてまた第二の就職氷河期と言われた団塊ジュニアが就職期を迎えたときに、正規の会社員になれなかったということで、この10年近く非正規というところで、いわば企業の使い捨ての調整弁のような働き方を余儀なくされている等々ですね、まして生まれる家の経済状況によって高校あるいは大学への進学もままならないという格差社会が、それはもう実感をされていると思います。

そういう状況がある中で、あえて高齢者だけに敬老祝金、個人に給付という施策を今回されるわけですが、こういったばらまきともとられかねないことは近隣の自治体ではもう既に廃止あるいは縮小という流れであるということは多分御存じだと思います。それにもかかわらず、今回この施策を採用さ

れた考えは。

【答弁】

私はばらまきというふうには考えておりません。公民協働の社会実現に向けての呼び水というふうに位置づけをいたしております。その公民協働を実現するためにはどうしなければならないのか、やはり行政の中はもっともっと無駄を省いて市民のために頑張っているという姿勢を示していかなければならない。そのまず第一が市民税の10%減税、そして上下水道料金の10%減額、敬老祝金の復活である。

昌子のコメント

この一連の質疑を通して、市長の公約に対する思いは理解できるものの、所詮告示直前に公約に入れたことからして、その内容は全く詰まっています。公民協働をしきりに言われていますが、話が抽象的で具体的に市長が何をされようとしているのが質疑を通して全く判りませんでした。特に実施時期については到底承服出来かねるもので、市長はこの施策は自分の任期中に限って行うとしており、その施策を任期が終わる頃に実施するとの考えは到底理解できません。名古屋市や半田市が少なくとも1年後に実施する計画であるのに比べ、これでは市民が納得されるとも思えません。

さらにこれを進める行程表が全く明らかにされない状況は、如何にこの公約が天から降ってきたもの(市長のブログから)としても、公約に掲げた責任において明確にしなければならないものです。プロジェクトチームに丸投げしたものではないと言っていますが、今後のこのチームの動きを注視していきたいと思えます。

全国で市民税の引き下げを実施している自治体はありません。引き下げを表明した自治体は3自治体で、和泉市は3番目です。税収が不足しそれを補填する地方交付税を貰っている自治体でみれば和泉市が全国初です。影響の規模、引き下げの方法などこれを実現するのは一筋縄ではいかないことは間違いありません。単純に税率を引き下げる事は、起債の制限に抵触し、難しい様です。答弁では市民の多くの方に還元できる方法を検討しているようですが、これまたバラマキの典型と見られてしまう可能性があります。

私は、市債の残高をふやさないこと、基金の残高を減らさないこと、手数料の引き上げや市民サービスの低下等、市民負担を前提にしないことの3点を確約出来るかと質しました。それに対し安易にそのような事は無いとの答弁でしたが、今後チェックしていきます。

頼れる病院ランキング

週刊ダイヤモンド社から頼れる病院ランキングが発表されました。以下はその中の自治体病院と近隣の民間病院を示したものです。57病院中民間病院が上位に、近隣の岸和田市や泉大津市の市立病院が中程上位に、北摂を中心とする市立病院が中程の下位に、南部の市立病院は軒並み下位に低迷しています。その中で和泉市立病院は57病院中52位と大変厳しい順位となっています。如何に再建が容易でないかがこれでも判ります。

病院名	順位	得点合計	医療の機能	経営状況
岸和田徳州会病院	7	86	36	50
府中病院	8	85	38	47
市立泉佐野病院	17	80	44	36
市立豊中病院	17	80	39	41
高槻病院	20	78	34	44
市立岸和田市民病院	20	78	36	42
泉大津市立病院	20	78	34	44
ベルランド総合病院	28	76	34	42
東大阪市立病院	28	76	34	42
箕面市立病院	32	75	36	39
八尾市立病院	34	74	38	36
高槻赤十字病院	36	73	34	39
市立吹田市民病院	36	73	36	37
市立池田病院	36	73	36	37
市立枚方市民病院	36	73	31	42
市立堺病院	40	72	33	39
市立藤井寺市民病院	47	63	26	37
市立貝塚市民病院	51	59	26	33
和泉市立病院	52	55	32	23
市立柏原病院	53	53	27	26
十三市民病院	55	52	27	25
大阪市立北市民病院	56	43	26	17
阪南市立病院	57	38	21	17

上表の医療の質とは診療科目数、医師数/一般病床数、専門医数/一般病床数、看護師の配置基準、保有する施設・設備を得点化したもので、医療の水準を表します。  
経営状況とは、一般病床数利用率、平均在院日数、人件費率、経常収支比率を得点化したもので、病院経営の安定度を表します。

下は経営悪化で病院を閉鎖した松原市、銚子市（千葉県）と近隣自治体病院の泉大津市立病院（20位）

のこの比率は71.1%で問題の根深さが判ります。

昌子の日記

- 8/3 和泉中央駅会報配布、淀川水系流域委員会傍聴
- 8/4 北信太駅会報配布、ダム定例会
- 8/5 和泉中央駅会報配布
- 8/6 和泉府中駅会報配布
- 8/7 和泉中央駅会報配布
- 8/8 生きもの観察会（惣ヶ池）
- 8/10 子ども議会傍聴
- 8/11 榎尾川ダム建設工事説明会
- 8/12 和泉中央駅会報配布
- 8/13 芦屋市議和泉市視察同行
- 8/14 プラスティックごみ処理について（能勢町議と）
- 8/17 和泉中央駅会報配布
- 8/18 中川おさむ氏出発式、榎尾川ダム再評価委員会傍聴
- 8/19 ダムによらない治水のあり方勉強会
- 8/20 全国自治体政策研究交流会議福井大会
- 8/22 福井県池田町「地域資源循環型農業のまちづくり」視察
- 8/30 和泉青年会議所45周年記念式典

	和泉市	泉大津市	岸和田市	銚子市	松原市
医師数	42	41	64	13	27
患者数/日	822	944	1,597	516	677
病床利用率	62.9	94.7	86.2		66.5
総収益(百万円)	5,013	4,618	11,251	3,327	3,257
総費用(百万円)	6,295	4,920	11,460	3,567	4,055
損益(百万円)	△ 1,282	△ 302	△ 208	△ 240	△ 798
累積債務(百万円)	8,019	4,530	4,567	1,242	3,971
繰入金(百万円)	720	699	1,696	1,500	553
累計繰入金(億円)	203			199	
一時借入金(億円)	8	17		0	15
職員給与比率(%)	71.1	50.5	47.6	80.7	66.7
市の財政状況					
標準財政規模(億円)	312	157	405	152	234
実質連結赤字比率(%)	4.5	-18.6	5.7	32.8	-5.0
実質公債比率(%)	6.9	16.6	13.7	12.2	7.6
将来負担比率(%)	67.9	265.2	203.6	151.7	129.3
地方債残高(億円)	489	324	858	314	334
経常収支比率(%)	101.6	99.5	96.7	95.4	102.8

和泉市病院H20年度決算 他はH19年度決算

岸和田市立病院（20位）の経営状況です。和泉市は累積債務が80億円と突出して高く、経営は危機的と言っても過言ではありません。特に職員の給与の医業収益に対する比率は70%を超え、泉大津市、岸和田市と比べ大きく劣っています。一般に民間病院より高いと言われていて職員給与は以下の通りです。民間病院と比べ大幅に高いと言わざるを得ません。和泉市立病院は公営企業法の全部適用ですので、病院が独自に職員の給与を決めることが出来るのですが、やはり民間のようにはいかないのが実態です。

単位百万円/年

	全国平均		和泉市立病院
	自治体病院	民間病院	
看護師	509	503	560
准看護師	682	480	
職員	690	470	

100床当たりの自治体病院と民間病院の医業費用

	自治体病院		民間病院	
	金額(万円)	医業収入に占める割合(%)	金額(万円)	医業収入に占める割合(%)
医業費用計	14,780		13,475	
給与等	7,880	63.1	7,086	52.8
材料費	3,421	27.4	3,059	22.8
委託費	1,252	10.0	952	7.1
減価償却費	1,038	8.3	666	5.0
その他	1,189	9.5	1,713	12.8

100床当たりの医業費用に占める給与等の比率は明らかに自治体病院が高いのが判ります。和泉市立病院

< 事務所行事 > いずれも小林昌子事務所で  
 連絡先 自宅 TEL 0725-54-2626  
 事務所 TEL 0725-53-4451  
 (事務所 緑ヶ丘1-3-15)

万葉講座(場所 緑ヶ丘自治会館にて)  
 ・講師 大高勇さん(犬養万葉顕彰会会員)  
 ・会費 1,000円(3か月分) 14-16時  
 ・73、74回 済み  
 ・75回 9/12(土)歌でたどる青丹よし奈良の都  
 (平城遷都1300年祭の予備知識)  
 < 途中からの参加でも十分お楽しみ頂けます >

ちぎり絵  
 ・講師 西原志満子さん・材料費実費 参加費無料  
 ・9月9日(水)13時~16時

パソコン講座(参加費無料)  
 ・第2、第4週の火曜10時~12時、  
 同じく 木曜14時~16時

市政相談会  
 ・第2、4水曜日 20:00~21:30